

第2学年 学級活動指導案

I 単元構想

1 題材 「考えよう 言葉と心」 内容 (2) イ よりよい人間関係の形成

2 児童の実態及び題材設定の理由
(削除)

3 人権教育との関わり

人権教育の目標は、一人一人の児童生徒がその発達段階に応じ、人権の意義・内容や重要性について理解し、[自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること]ができるようになること、それが様々な場面や状況下での具体的な態度や行動に現れるとともに、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることである。

小学校低学年の段階では、相手を尊重しながら自分の思いや考えを伝えることのできるコミュニケーション能力や相互の立場に立って考え解決する力を育成するような体験を取り入れた学習を進めることで、一人一人の人権意識を高め、よりよい人間関係の形成を図ることができると考える。

本時では、学校生活で起きたことを題材に、友達との関わりにおいて、どんな言動を心がけたらよいか考え話し合う活動を通して、生活の中の問題点に気づき、自分の思いや考えを相手にしっかり伝えること、相手の思いや考えをしっかり聞くことが、望ましい人間関係を形成するための有効な手段になることを実感させたい。

【育てたい能力・態度】

- ・感性：相手の気持ちを考えることを通して、どんな言動を心がけたらよいか気付く。
- ・知性：なかよしクラスにするためにどうしたらいいか考えることを通して、自他の思いや考えを尊重した言動について考える大切さを理解する。
- ・判断力：話し合う活動を通して、なかよしクラスにするためのよりよい解決の仕方を見付けようとする。
- ・実践力：生活の中の問題点に気づき、自分に合った行動目標を決めることで、生活をよりよくしようとする。

4 身に付けさせたい資質・能力

	身に付けさせたい資質・能力
知識・技能	自己の生活上の課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解するとともに、そのために必要な知識や行動の仕方を身に付けることができる。
思考力・判断力・表現力	自己の生活上の課題に気づき、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定することができる。
主体的に学習に取り組む態度	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題に向けて取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりすることができる。

5 指導計画

	主な内容	主な学習活動	評価の観点		
			関	思	知
事前 の 活 動	問題の発見	事前アンケートで学校生活を振り返る。			
	問題の意識化	問題を知り、どんなクラスにしたいか考え、仲良く過ごすために大切なことについて話し合うことを知る。	○		
本時の学習				○	○
事後 の 活 動	実践	自分で立てためあてを意識し、学校生活を送る。			
	振り返り	実践して良かったこと、うまくいかないことを話し合い、次の取り組みへの意欲につなげる。	○	○	

II 本時の学習

1 ねらい

友達と関わる過程において、どんな言動を心がけたらよいか話し合う活動を通して、仲良く楽しい学級生活を送るための自己目標を考えることができる。

2 展開

主な学習活動 ○教師の発問 ☆児童の意識	指導上の留意点及び支援・評価	時間
<p>1 事前アンケートから、学級で起こった出来事、友達の気持ちについて考えることを伝える。 つかむ</p> <p>○アンケート結果を見て、どう思いますか。</p> <p>☆友達とけんかをして困ったことのある人は、意外と多いな。(少ないな。)</p> <p>☆けんかが起きるのはいやだな。</p> <p>☆なかよしクラスで生活したいのに、どうしたらいいのだろう。</p>	<p>・学級の共通の問題として捉えられるようアンケート結果を視覚的に提示する。</p> <p>・アンケート結果から実態を把握し、課題を共通理解する。「みんなが生活したいクラス」をおさえる。</p>	5
<p>〈めあて〉なかよしクラスにするためには、どうしたらいいか考えよう。</p>		
<p>2 友達とけんかをした時の気持ちを考える。 さぐる</p> <p>○けんかをした時はどんな気持ちかな。</p> <p>☆いらいらする。 ☆いやな気持ちができる。</p> <p>○何でけんかはだめなのかな。</p> <p>☆いやな気持ちができるから。 ☆なかよしがいいから。</p>	<p>・けんかをした時は、みんな同じいやな気持ちになることを知ることで、「みんなが生活したいクラス」に近づくには、どうしたらいいか考えるきっかけとする。</p>	35

<p>3 児童が「いやな気持ちになった」場面を提示し、その様子を知る。 ○何でこうなったのか、みんなで原因を考えよう。</p> <p>4 友達との関わりの中で、どんな言動を心がけたらよいか考え、発表する。 見付ける ○グループでいやな気持ちにならないためにはどうしたらいいか考えよう。友達に「〇〇したらいいんじゃない？」っていうアドバイスをしてあげよう。 ○発表を聞いている人は、どう思いましたか。 ☆いやな気持ちになって困っている友達を助けるアドバイスを考えたい。</p> <p>5 互いの考えのよさや共通点を確認する。 ○出し合った意見を見て、いいなと思ったところはどこですか。 ☆問題はちがっても、なかよしクラスにするために大切なことは似ているのかな。</p> <p>6 自分を振り返り、できることを考え自己決定し、発表する。 まとめる (決める) ○なかよしクラスにするために、自分ができるところからがんばりたいことを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な場面を提示することで、実践につながる取り組みを考えていけるようにする。 ・自分の経験から考えたり、相手の気持ちを考えたりすることで、問題点を追求できるようにする。 ・感じたことや考えたことをワークシートに記入することで、「みんなが生活したいクラス」にするために大切なことに気付けるようにする。 ・多様な考えを受け入れ、よりよい解決の仕方を見付けられるように、自分の考えに理由を付けて発表するよう声をかける。 ・自分にできる具体的な行動目標を考え、設定できるよう一人一人の意見を認め、賞賛する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【評価項目】 自分にできる具体的な行動目標を考えている。(ワークシート、発言)</p> </div>	
<p>7 めあてに沿って振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈振り返りの姿〉 なかよしクラスにするために、自分ができるところ (目標) を決められたので、これからしっかりと取り組みたい。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定をした目標を意識して生活することが、「みんなが生活したいクラス」に近づくことを知らせ、実践への意欲を高める。 	5

3 板書計画

めあて なかよしクラスにするためには、どうしたらいいか考えよう。			
アンケート結果 けんかはやくない。 いやな気持ちになる。	いやな気持ち になった場面	さぐる	まとめる なかよしクラスにする ために大切なこと ・わけ（りゆう）を聞く ようにする。 ・じ分の気持ちやりゆうを 話す。 ・友だちの気持ちを考える。 ・ことばづかい、言い方に 気をつける。 自分のめあてをきめよう
	いやな気持ち になった場面	見つける	
	いやな気持ち になった場面		

4 ワークシート

〈めあて〉 なかよしクラスにするためには、どうしたらいいか考えよう。

1. 自分で考えたこと

----- -----

2. 今日のおべんきょうをして、じ分ができること（これからがんばりたいこと）を書きましょう。
